

2022年度事業計画(2022年4月1日～2023年3月31日)

2021年度は2020年度に続き新型コロナウイルスの感染拡大を受け、予定していた国内及び海外セミナーは実施できなかったが、感染対策を講じた上で保険フォーラムを開催することができた。2022年度についても感染状況の先行きが不透明ではあるが、例年と同等の事業を遂行する前提で計画する。

(1) 研修事業

① アジア諸国・地域での海外現地セミナー

海外現地セミナーについては、3か国での開催を計画している。

開催候補国は、中国、フィリピンもしくはカンボジア、韓国もしくはベトナムを基本とする。

② 国内セミナー

国内セミナーは、春秋2回開催する。

セミナー名	開催時期	募集人数
OLIS 2022 Spring	2022年5月	—
OLIS 2022 Autumn	2022年10月20日～25日	40名

春セミナーは、「コロナ禍における各国の生保営業」をテーマに、日本、韓国、台湾の生保営業についてオンライン配信を行う。

③ 国内セミナー参加者への渡航費支援

セミナーに社員・職員の派遣を希望しながら渡航費用の負担が困難な機関のために、費用を支援する「セミナー等参加渡航費の支援制度」は、途上国からの参加希望に応えるよう継続して実施する。

(2) 教育振興事業

① 生命保険寄附講座

慶應義塾大学の寄附講座「OLIS 生命保険寄附講座」は、4月より13年目(3年講座期間の第5ターム1年目)を開講する。

2014年度から開設している中央大学理工学部の寄附講座も4月より9年目(3年講座期間の第3ターム3年目)を開講する。

また、2022年度から新規に早稲田大学の寄附講座が開始される。

なお、2023年開始大学選考については、2022年3月公募、2022年4月寄附講座選考委員会で選定、2022年5月理事会承認の予定である

② 保険フォーラム

2021 年度に開催中止となった中央大学(2 回目)、立命館大学(初)、九州大学(2 回目)及び、東京近郊の大学の 4 大学で開催する計画である。

(3) 奨学制度

① タイ生命保険協会奨学制度

前年度と同規模で「タイ生命保険協会奨学制度」に協賛し、奨学金を給費する。

② ベトナム保険協会奨学制度

新たにベトナム保険協会と覚書を締結した奨学金制度に基づき、奨学金を給費する。

(4) 広報・出版事業

① 論文・書籍・情報の翻訳、紹介

毎年、アジア諸国・地域の生命保険事業の発展に有益と思われる論文・書籍・データを翻訳して提供している。2022 年度は、現在対象書籍を選定中である。英語、中国語の 2 か国語に翻訳する。

② 財団紹介パンフレットの更新

財団の事業活動や実績などを広く知ってもらうためのパンフレット「INFINITY」(日本語版、英語版)について、直近の事業活動状況を反映させた更新版を作成する。

③ ホームページの活用

アジア諸国・地域と相互に活発な情報交換ができるホームページ構築に 2022 年度も引き続き努める。

④ 「日本の生命保険マーケット最新事情」の発信

日本の生命保険マーケットの最新動向について、アジア各国に理解し自国の生命保険事業振興の参考としてもらうことを目的に、「日本の生命保険マーケット最新事情」をホームページに引き続き掲載する。

(5) 運営委員会の継続設置

財団の事業活動の検討を目的に、財団理事長の諮問機関として運営委員会を継続設置する。